

# プログラム 発表者等紹介

## プログラム

### 第1部「朝鮮戦争と日本」(08:45～11:00)

#### 基調講演

マイク・モチヅキ（米ジョージ・ワシントン大学日米関係部長）  
「日本と朝鮮の戦略的連関——冷戦期のアメリカの視点」

#### セッション

柴山 太（関西学院大学教授）

「西側陣営全体にとっての1951年の極東での西側同盟ネットワークづくりと  
新日本の戦略的意義」

南 基正（韓国ソウル大学日本研究所長）

「東アジア停戦体制と日本の位置——日本が戦った朝鮮戦争を手掛かりに」

マーク・ガリッチオ（米ヴィラノーバ大学米国史部長）

「アメリカの戦略における韓国と日本 1945-1955」

\*討論者 庄司 潤一郎（防衛研究所戦史研究センター戦史研究室主任研究官）

#### 討論及び質疑応答

### 第2部「冷戦史のなかの日米韓関係」(14:15～16:30)

#### 特別講演

波多野 澄雄（国立公文書館アジア歴史資料センター長）  
「朝鮮半島と日本の安全保障——その歴史的考察」

#### セッション

小林 聡明（日本大学教授）

「韓国外交文書から見る沖縄返還前後の東アジア国際関係」

崔 慶原（常葉大学教授）

「米中接近と日韓安全保障関係——抑止と外交の調和は可能だったのか」

添谷 芳秀（慶應義塾大学名誉教授）

「冷戦の終焉と日米・日韓関係」

\*討論者 中島 信吾（防衛研究所戦史研究センター戦史研究室長）

#### 討論及び質疑応答

## 発表者等紹介

### 議長

立川 京一

現職：防衛研究所戦史研究センター長

略歴：博士（上智大学）

主要著書等：

『第二次世界大戦とフランス領インドシナー「日仏協力」の研究』（彩流社、2000年）

### 発表者（敬称略、発表順）

マイク・モチヅキ

現職：ジョージワシントン大学日米関係部長

略歴：博士（ハーバード大学）

主要著書等：

*Memory, Identity, and Commemorations of World War II: Anniversary Politics in Asia Pacific* (co-authored, Lexington Books, 2018)

柴山 太

現職：関西学院大学総合政策学部教授

略歴：博士（エール大学）

主要著書等：

『日本軍備への道 1945～54年』（ミネルヴァ書房、2010年）

## 南 基正

現職：ソウル大学日本研究所長

略歴：博士（東京大学）

主要著書等：

『基地国家の誕生—朝鮮戦争と日本・アメリカ』（東京堂出版、2023年）

## マーク・ガリッチオ

現職：ヴィラノーバ大学米国史部長

略歴：博士（テンプル大学）

主要著書等：

*Unconditional: The Japanese Surrender in World War II* (Oxford University Press, 2020); *Implacable Foes: War in the Pacific, 1944-1945* (With Waldo Heinrichs) (Oxford University Press, 2017)

## 波多野 澄雄

現職：国立公文書館アジア歴史資料センター長

略歴：博士（慶應義塾大学）

主要著書等：

『日本の歴史問題 改題新版—「帝国」の精算から靖国、慰安婦問題まで』（中公新書、2022年）；『歴史としての日米安保条約—機密外交記録が明かす「密約」の虚実』（岩波書店、2010年）

## 小林 聡明

現職：日本大学法学部教授

略歴：博士（一橋大学）

主要著書等：

『日米同盟論—歴史・機能・周辺諸国の視点』（共著、ミネルヴァ書房、2011年）

**崔 慶原**

現職：常葉大学外国語学部教授

略歴：博士（慶應義塾大学）

主要著書等：

『冷戦期日韓安全保障関係の形成』（慶應義塾大学出版会、2014年）

**添谷 芳秀**

現職：慶應義塾大学法学部名誉教授

略歴：博士（ミシガン大学）

主要著書等：

『安全保障を問い直す―「9条 - 安保体制」を越えて』（NHK ブックス、2016年）

冷戦期の日本の安全保障と朝鮮半島

令和5年度戦争史研究国際フォーラム報告書

発行日 令和6年9月30日

編集・発行 防衛省防衛研究所

〒162-8808

東京都新宿区市谷本村町5-1

電話：03-3260-3011

FAX：03-3260-3034